

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第104号 平成25年8月30日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 南 圭三郎

目次

農家さん訪問記 (88) 【静岡・お茶】	p. 1
住友化学アグログループ紹介 住化農業資材(株)	p. 5
西南暖地のおいしい枝豆栽培方法 (その2)	p. 6
今月の肥料紹介【スーパーSRコート:白ねぎ】	p. 8
今月のお奨め農薬	
【プレオフロアブル・ディアナSC・ゼンターリ顆粒水和剤】	p. 9
お役立ちプチ情報【害虫の姿その5:果樹の害虫】	p. 11
農薬登録情報	p. 12
ひまわり農園奮闘記⑤	p. 13
【お知らせ】庄原工場竣工式	p. 14
生産者の皆様へ	p. 14
★新★バーチャルトライアスロンの旅	p. 15
★新★あの農家さんはいま	p. 16
編集後記	p. 19



コガモ (カ科) とスイレン (スイ科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(88)

世界へ届け！「世界農業遺産」で作られた“東山茶”

今回はお茶の里、静岡県掛川市を訪ねました。

掛川市は静岡県の西部に位置し、城下町として栄えてきました。海も山もあり、また温暖な気候からお茶をはじめ、水稲やいちご、ネーブルオレンジなど様々な作物が栽培されています。



杉浦敏治さん

私たちが今回訪問した掛川市東山(ひがしやま)地区では、伝統的な「茶草場(ちゃぐさば)農法」でお茶を栽培しています。このたび、この茶草場農法がなんと、「世界農業遺産」に認定されました。そこで、お茶を栽培すると共に、「東山地域やる気塾」塾長として東山地区の広報に注力されている杉浦敏治さん(58歳)にお話を伺い、東山茶の振興にかける熱い想いを語っていただきました。(取材日7月10日)

それは先人が残した 「茶」の文字からはじまった

JR掛川駅から車で行くこと約30分、あたり一面青々とした茶畑が見えてきました。すると、山の斜面に樹木で作った

大きな「茶」の文字が。東山地区に到着です。車を降りると「東山いっぷく処」の看板が掲げられている一軒の「お休み処」がありました。こちらで杉浦さんにお話を伺いました。この「お休み処」については後ほど詳しくお話します。

杉浦さんは、お茶農家の4代目です。お父さんが67歳、杉浦さんが41歳の時に受け継ぎました。その後42歳の時には、会社経営（農業以外）も始めました。

杉浦さんの茶畑は約3町歩（約3ha）あり、奥様と一緒に栽培しています。また、掛川市には農業活性化のための「やる気塾」があり、杉浦さんは東山地域の塾長を務めています。

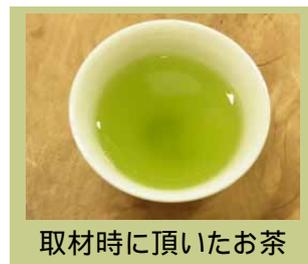
東山地区には、約120戸の農家があり、そのうち約80戸がお茶の専業農家です。茶工場は組合が3ヶ所、個人2ヶ所の計5ヶ所あり、全体のお茶の栽培面積は約170町歩になります。

山に描かれた「茶」文字は、昭和7年に地元の人たちの手で松の木（のちにヒノキへ変更）を植えて作られたそうです。縦横約130mという大きさです。空港、新幹線、JR、高速道路などの全ての交通機関から見る事が出来るそうです。

当時「どのようにしてこのような正確なものを作れたのか」は、今となっては定かではありませんが、「これだけのものを作った先人の想いを後世に伝えていきたい」と、今も大事に守られています。「この『茶』の文字が、地域振興の原点」と杉浦さんは言います。この文字を作った先人の想いに応えたいと、静岡の東山のお茶を「知って・来て・飲んで・買ってほしい」と広報活動に力を入れるようになりました。



東山の「茶」の文字



取材時に頂いたお茶

地域活性化事業で発信！

ここで、杉浦さんが塾長を務める「東山地域やる気塾」について伺いました。「やる気塾」は地区の農産物を広めるための活動を行い、他地区と合同の総会が年に2回あります。塾長の任期は一期3年となっており、今年が3年目にあたります。

「東山のお茶を身近に感じてもらい、効能も発信したい。農家さんには胸を張ってアピールできるお茶を作ってもらい、みなさんに知ってもらうためには自分が発信する側でがんばろう」と、杉浦さんは広報に力を入れています。

東山について伺うと、「環境や景色、もちろんお茶には自信があります。お茶を五感で味わってもらい、それをみなさんに伝えたい。時代が進もうと五感は大変ですよ」と杉浦さんは言います。「おいしさがわかるデータをくださいという方も多いのですが、データよりも五感で感じてほしいのです。農作物すべてにおいてそうだと思いますよ」とも話してくれました。

多くの人に東山に来ていただき、美味しいお茶をぜひ飲んでもらいたいと、お話を伺った場所でもある「東山



「東山いっぷく処」の看板

「東山いっぷく処」にご興味がある方は
ホームページを覗いてみて下さい。
<http://chaya.guuweb.com/>

いっぷく処」を地区のみなさんで作りました。現在は土曜・日曜にオープンしています。

ここでは、おいしい東山茶が楽しめるのはもちろん、お茶や加工品・野菜なども購入できます。お茶の包装にも工夫がありました。「かわいいものが好きな方もいれば、落ち着いたものが好きな方もいるので、いろいろな包装を揃えています。売る楽しみもあるんですよ」と杉浦さん。新聞紙で作った手提げも用意されており、地元のみなさんの愛情が感じられます。

また、お茶をおいしく飲んでいただくための講習会など、イベント活動を行なっています。



「東山いっぷく処」の内部



販売しているお茶



新聞紙で作った手提げ

「静岡の茶草場農法」が おいしいお茶を育てる

東山地区で主に栽培している品種は、やぶきたです。

4月・5月が一番茶、6月二番茶、7月・8月三番茶と続き、9月・10月は番茶を収穫しています。11～2月は草刈りの時期です。この草刈りが東山茶のおいしさに深くかかわってきます。

草刈りは、「茶草場（ちゃぐさば）農法」といい、100年以上続く農法です。

「茶草場農法」とは、茶園周辺に生えるササやススキを刈り取り、切断してから茶畑の畝間に敷く農法で、東山地区では全域で行われています。これにより、畑の土がふかふかになり、よりおいしいお茶が出来ます。また、畝間に敷き詰めることによって雑草の成育を防ぐ効果があります。草を刈り取る場所を「茶草場」と呼びます。茶草場は、茶園の間にモザイクのように点在します。茶草場農法は、かつては日本各地で行われていましたが、時代の流れで農法が変化し、今では静岡県の一部など、ごく限られた地域でしか行われていません。この茶草場がこの地域の希少な野生の動植物を守り育てていることが評価され「世界農業遺産」の登録につながりました。まさに自然との共存です。取材時にはナキイナゴに会うことができました。



茶草場のナキイナゴ



茶草場のササ



畝間に敷き詰められた茶草

「世界農業遺産」に登録されました！

「世界農業遺産」とは、国際連合の食糧農業機関（FAO）が、世界の伝統的な農業や文化風習・生物多様性を後世に残すために始めた制度です。静岡県と掛川市の声かけで、伝統的な「茶草

場農法」の認定運動が開始されました。そして今年(平成25年)5月30日に、石川県七尾市で開催されたFAOの国際会議にて、静岡県の5市町(掛川市、菊川市、島田市、牧之原市、川根本町)



「世界農業遺産」認定!

の茶草場農法が「世界農業遺産」に認定されました。富士山の世界文化遺産への登録(こちらはユネスコ:国連教育科学文化機関による認定)より先の出来事です。

「動植物を守りながらやってきたことが認められました。例えばササの茶草場では、毎年決まった時期にササを刈るので、珍しいササユリが咲くんですよ」とうれしそうに杉浦さんが話してくれました。ササユリは花が咲くまで7年もかかるので、毎年ササを刈らないと、ササに埋もれて育たないのだそうです。

日本で世界農業遺産に登録されていたのは、「トキと共生する佐渡の里山」と「能登の里山里海」でした。今回の国際会議で「静岡の茶草場農法」は、阿蘇地域、国東半島宇佐地域と共に認定されました。現在、全11ヶ国25ヶ所が認定されています。

「世界農業遺産」のお茶として、国内のみならず世界も視野に情報発信したいと、杉浦さんは積極的にPR活動を実施しており、テレビの取材やBSテレビ番組の企画も受けています。また、既に世界農業遺産登録されている地区(能登や佐渡等)の方とも一緒に広報活動を計画しています。

「生産者も自分が作ったものを自信をもって届けていけるよいきっかけになったのでは」と杉浦さんは言います。世界農業遺産の候補になった段階で、4、5カ国の方が訪ねて来たとのことで、海外展開のルートも開けてきています。

これからも東山茶の魅力を伝えていきたい

今後について何うと、「世界農業遺産のお茶を国内のみならず世界へ届けたい。六次産業化も進めていきたい。そのために、農薬メーカーは、日本のお茶を世界に発信する際、安全性が認められて広く受け入れられるよう、積極的に対応してほしい」とのご要望をいただきました。

後継者については、「高齢化問題はあるんですが、後継者問題は大丈夫です」と杉浦さん。「魅力があれば、継いでくれます」とも。町の青年部も東山地区の魅力を伝えようと「歩くマップ」を作成したりと積極的に活動しています。

杉浦さんにも、繁忙時に農作業を手伝ってくれる娘さんがおり、5代目を継いでくれないかと期待しています。「親が楽しい姿を見せると、その背中を見ていろいろ感じ、わかってくれるのではないのでしょうか。でも、自分の好きなことをやってほしいですね」と親心が垣間見られました。

最後に、「継続は力なり。これからも東山茶の魅力を伝えていきます」と力強く語ってくれました。

お茶の里、東山。未来へ残し、伝え、そしてたくさんの方に訪ねてほしい、そんな歴史あるところでした。(阿部・南)



一面に広がるお茶畑



お茶畑と茶草場

[目次へ戻る](#)

住化アグログループご紹介



チューブの目詰まりにお困りの皆様へ
 これまでと違ったフィルターを使ってみたい皆様へ
 特殊繊維メッシュの効果で、ろ材（エレメント）洗浄が簡単

SNZ ファインフィルター 50 ・ SNZ ファインフィルター 80

発売以来、「ろ材洗浄が簡単」と大好評のSNZ ファインフィルター 50 と大口径の 80 をご紹介いたします。

大口径の 80 タイプは、内部エレメントが従来の 50 タイプより長くなり、処理流量も 1.5 倍の 600 リットル / 分まで可能となっています。



(左) SNZ ファインフィルター-80 (右) SNZ ファインフィルター-50 現場での使用例

ディスクフィルターのエレメント部分を覆っている繊維メッシュは、ゴミが付着しにくい特殊な表面形状となっています。そのため、

1. エレメント内部へのゴミの侵入を防止する。
2. フィルター内部を満水状態にし、洗回流を起こすことによって洗浄ができる。
3. エレメントに水をかけるだけで、メッシュ表面についたゴミを取り除くことができる。

	SNZ ファインフィルター-80	SNZ ファインフィルター-50
使用圧力	0.5MPa	
最大流量	600 リットル / 分	400 リットル / 分
ろ材	ディスクエレメント 80 メッシュ 繊維メッシュフィルター 120 メッシュ	
付属品	排気弁、排泥弁各 1 個	
	3×2 ソケット 2 個	2×2 ソケット 2 個
別売部材	専用架台、コネクター付圧力計	

お問い合わせはこちらまで

住化農業資材（株）本社 灌水資材部 TEL：06 - 6204 - 1241

北海道営業所 TEL：011 - 382 - 2541 東日本営業所 TEL：0285 - 23 - 1935

四国営業所 TEL：0897 - 32 - 3684 九州営業所 TEL：0968 - 37 - 4450

インターネットホームページ上にて、ファインフィルターの動画配信中

<http://www.sumika-agrotech.com>

[目次へ戻る](#)

西南暖地のおいしい枝豆栽培方法(その2)

住友化学アグロ事業部 技術顧問 牧野孝宏

前は、おいしい品種と栽培体系についてお話ししました。今回は、施肥と農薬についてお話を進めていきます。

1. 施肥

おいしいといわれる枝豆は、庄内5号や3号などだだちゃ豆系の品種ですが、昔からの品種のため、暖地では窒素肥料がほとんどいりません。逆に多すぎると実が付いても落下して収量がほとんど無くなるなど、大変気むずかしい品種です。そのため、肥料分の少ない水田転換畑等に作ると、比較的うまく出来ます。

(1) 元肥

だだちゃ豆では、表1を参考にして元肥は成分で10a当たりN:1~2kg、P(P₂O₅):15kg、K(K₂O):15kgと窒素成分

表1 ECメーターを用いた簡易な土壌診断とだだちゃ豆系品種施肥量の目安

EC(mS/cm)	0.3	0.5	0.7	1以上
硝酸体窒素(mg/100g)含有量のおよその推定値	10~20	20~30	30~50	50以上
だだちゃ豆系品種	基準値	1/2	その他品種	他作物
その他の品種	基準値	2/3	無肥料	他作物

の少ない構成にし、全層に施用します。露地の場合ECメーター(3,000~4,000円)で計っておくと、施肥の重要な目安になります。また、化学肥料と完熟鶏糞を併用すると、肥料のコストダウンと石灰分の補給になります。

なお、だだちゃ豆以外の品種では、早春にトンネル、黒マルチ栽培する場合、肥効調節型肥料(硝酸化成抑制剤入り肥料:スミカエース2号(PNK=12-14-9)または被覆配合肥料:スーパーSRコート大豆用877(NPK=18-17-17)の元肥一括施用によって、収量がかなり増加します。非だだちゃ系良食味品種を例に示すと、表2のように窒素成分で10a当たり6.4kg、8kgを元肥で施用した場合、無処理に比べて莢重は、それぞれ10%、20%増加しています(栽培概要:2月28日播種、3月26日定植、栽植密度:畝間60cm、株間30cm、6月10日調査)。

このように栽培時期によっては、窒素肥料を多くすることにより、収量が増加し、また味が良く、莢の色も緑色が濃くなり商品価値の向上にも寄与することが出来ます。

表2 早春栽培における施肥の効果

窒素 N/10a	非だだちゃ系良食味品種		
	莢重 g/株	莢数 g/株	草丈 g/株
8.0kg	64.2	22	53.7
6.4kg	50.3	19	56.5
無施用	43.2	16.3	46.6

(2) 追肥

だだちゃ系の豆については、追肥の効果が調べられています。表3のように、被覆尿素肥料(40日タイプ)を、6葉期の時に表面に施用して土寄せすると、総莢数(2粒、3粒莢)が増加して収量が増加することが明らかにされています。また、草丈が小さいうちに施用するので、作業性も優れています。さらに、収量だけでなく最も重要な、甘みや旨み成分が増え味の向上にも役立つことがわかっています。

表3 追肥の効果(参考:五十嵐ら、山形農研報2009 No.1)

追肥の種類	施肥時期	収量	甘み(主に糖分)	旨み成分(アミノ酸)
被覆尿素(40kg)	6葉期、土寄せ時	1-3割程度増	1割程度増加	やや増加
硫酸加里(10kg)	同上	1-3割程度増	1-2割程度増加	やや増加

2. 病虫害防除

西南暖地の枝豆栽培の要はなんと言っても病虫害防除です。病害はそれほど問題になりませんが、種子伝染性のモザイク病は発生すると収穫は望めませんので、健全種子を購入します。枝豆で最も問題となるのは、莢に寄生する害虫です。特にシロイチモジマダラノメイガとカメムシの防除は欠かすことが出来ません。

残効性があり、収穫前使用期間の長いスミチオン乳剤やアディオン乳剤から使い始めて、発生する害虫を見ながら、収穫前使用期間の短いアグロスリン乳剤、ダントツ水溶剤へと変えてゆくの Good です。

参考のため、西南暖地で枝豆に発生する病害と害虫を見てみましょう。図1のモザイク病は、種子伝染性やアブラムシ媒介によるウイルスによるもので、莢が着かなくなります。図2は斑点細菌病で、だだちや系で発生が多く見られます。図3は暖地系の重要な莢・子実害虫で、シロイチモジマダラノメイガです。6月中旬以降の収穫では、必ず防除が必要となります。図4はカメムシ類です。ホソヘリカメムシやアオクサカメムシ、最近ではミナミアオカメムシ等が増加して問題となります。6月下旬頃から、次から次へ飛んできて子実を吸汁するため、定期的な防除が必要になります。

まとめますと、枝豆は植物体の活性が高いうち収穫するので、比較的病害の発生は少なく経緯します。しかし、だだちや系の品種は、莢汚損症等の病害も発生するので、ゲッター水和剤等で予防的に散布します。

2月~5月にかけては、ほとんど害虫の発生は見られないので、薬剤散布は最小限とします。6月から残効、収穫前期間の長いスミチオン乳剤、アディオン乳剤を最初に使用します。7月に入るとカメムシ、シロイチモジマダラノメイガなどが発生するので、スミチオン乳剤、アグロスリン乳剤等を使用します。また、残効期間の短いダントツ水溶剤、プレオフロアブル等を組み合わせて使って防除します。

以上、西南暖地の枝豆施肥と防除についてお話しました。次回は、栽培実例を紹介します。

表4 西南暖地で問題となる枝豆の病虫害と防除方法

病虫害名	発生時期	農薬等	備考
モザイク病	全期間	健全種子の購入	定植初期から発生
斑点細菌病	生育中後期	銅水和剤	予防的に散布
紫斑病	種子及び葉	ゲッター水和剤	種子粉衣
莢汚損症	開花以後莢に発生	ゲッター水和剤	発病莢からの胞子の飛散による汚染防止
アブラムシ	4月~9月	アディオン乳剤 スミチオン乳剤	ウイルスを媒介するので発生したら防除
シロイチモジマダラノメイガ	6月中旬~9月下旬	スミチオン乳剤	開花前後から収穫前日数を守って散布
ダイズサヤタマバエ	6月上旬~9月中旬	スミチオン乳剤	開花直後に散布
ハスモンヨトウ	8月中旬~10月	プレオフロアブル ダントツ水溶剤	開花後15日間隔で2回
カメムシ類	6月下旬~10月	スミチオン乳剤 アグロスリン乳剤	開花後10日間隔で3回 収穫前日数に注意



図1: モザイク病



図2: 斑点細菌病



図3: シロイチモジマダラノメイガ (↑成虫、↓食害; 子実、莢成虫)



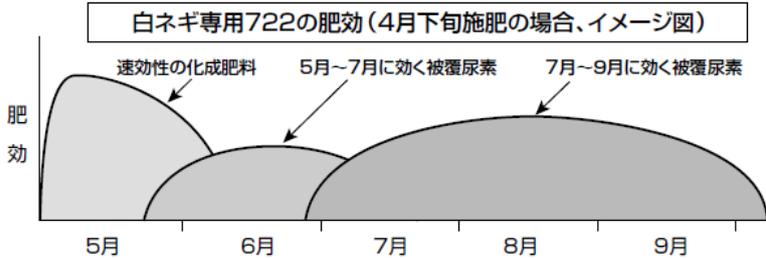
図4: カメムシ類



[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介 スーパーSRコート 夏秋どり白ネギ専用722

今月は、夏秋どり白ネギ専用の元肥一発肥料、**白ネギ専用722**をご紹介します。白ネギ専用722は、4~5月中旬に定植する白ネギ用の元肥一発肥料です。定植後、まだ気温の低い4~5月には速効性の化成肥料が、その後収穫期までは、2種類の被覆肥料が穏やかに効き、栽培期間の長い夏秋ネギの生育に適した肥効が最後まで持続します。



今回は、大分県における試験の中間報告を致します。当地のネギ栽培では、毎月の追肥が必要ですが、人手もあまりかけられないため、省力化が一番の課題とのこと。そこで、省力になる肥料はないかとインターネットで検索されたところ、住友化学(株)の**スーパーSRコート夏秋どり白ネギ専用722**を見つけられ、早速に使って頂けることとなりました。6月26日の調査では、地上部、根とも生育は地域慣行施肥区より良好でした。農家さんの圃場管理レベルは高く、堆肥もうまく活用されながら栽培されていました。何より、追肥の回数が大幅に減ったことで、人件費の削減になっているとのこと。秋の収穫に向け、今後の生育に期待が持てるという感想をいただきました。

地域	大分県		
作物(品種)	白ネギ(夏扇4号)		
定植	2013年5月13日		
肥料	スーパーSRコート夏秋どり白ネギ専用722		
施用方法と施肥量	元肥	全層	70kg/10a
		植え溝横側条	70kg/10a
	合計	140kg/10a(窒素で23.8kg/10a)	
生育状況(6月26日)	白ネギ専用722区	草丈:48.5cm、葉色(SPAD値):50.8	
	地域慣行施肥区	草丈:42.2cm、葉色(SPAD値):50.8	



写真:6月26日

お問い合わせは 住友化学(株) アグロ事業部 肥料営業部まで 電話 03-5543-5783

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

秋まきキャベツのチョウ目害虫防除に

プレオフロアブル、ディアナSC、ゼンターリ顆粒水和剤

秋まき栽培のキャベツに発生するチョウ目害虫はアオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、コナガなどです。

主なチョウ目害虫の生態と被害の特徴は次の通りです。

【アオムシ】春～秋に数回発生します。春と秋に多発します。

卵はトックリ型で高さ約1mm、葉裏に1卵ずつ産み付けられます。幼虫は葉に穴を開けたり、葉の端から食害します。多発生時には株が丸坊主になることもあります。移動性が少ないので、緑色の虫糞が加害部の葉上や葉柄にたまるのが特徴です。ハスモンヨトウのように芯部まで食入することはありません。



【ヨトウムシ】年に2回（春：5～6月頃と秋：9～11月頃）に発生します。



卵は卵塊で、葉裏に産み付けられます。孵化した幼虫は若齢期（10mm以下）までは集団で、1～2葉に集中して食害します。葉の表皮が白く残ります。1～2齢幼虫はシャクトリムシのように歩行します。若齢幼虫は頭部は黒褐色、体色は淡緑色で、日中も葉上にいますが、3齢幼虫になると体色は灰褐色となり、日中はキャベツ株内や、土中に潜り夜間に加害します。老齢幼虫は体長約40mmになります。成熟幼虫は食害量が大きく、葉脈だけを残した状態の被害になります。6齢を経過すると土中で蛹化します。

ハスモンヨトウと加害作物、加害習性はよく似ていますが、ハスモンヨトウは卵塊が黄褐色の毛で覆われているのと発生が秋季に多い点で異なります。

孵化直後の葉裏に群生している時に防除するのがポイントです。

【ハスモンヨトウ】6～10月の間に5～6回発生します。秋の発生が多いです。

卵は黄褐色の毛で覆われた卵塊で産み付けられます。孵化した幼虫はまず産み付けられた葉を群生して食害します。葉は表皮だけを残すので白または褐色に透けて見えるようになります。2齢までは集団で加害します。3齢以降は単独で食害するようになります。2齢以降は頭部の後ろに1対の黒い斑点（紋）が見えます。

老齢幼虫は体長40mm程度になります。大きいものは体長50mmになります。

施設内では冬期も生存し、加害を続けます。

中・老齢幼虫（体長15mm以上）には薬剤の効果が低くなるので、若齢幼虫のうちに防除します。各種薬剤に対する薬剤感受性は低く、難防除害虫です。

耕種・物理的防除は①黄色蛍光灯を終夜点灯し、飛来を防止する。②施設栽培では開口部に防虫ネットを設置する。③卵塊や若齢幼虫が集団で生息している白変葉を見つけ次第除去する。

【コナガ】4～10月に発生します。関東以西では10～12世代発生します。春～初夏と秋の発生が多いです。

卵は白黄色のお椀型で、1卵ずつ葉に産み付けられます。幼虫は両端がとがり気味の小さな青虫です。1齢幼虫は葉にもぐり、葉内部から葉肉組織を食害します。2齢以降は葉裏から葉脈を残すように食害します。成熟した幼虫は体長約10mmです。葉裏の窪みに粗いレース状の繭を作り、蛹化します。

各種殺虫剤に抵抗性が発達している難防除害虫です。作用機構の異なる薬剤を組み合わせたローテーション散布で防除します。栽培面積が広い所ではフェロモン剤による交信攪乱も有効です。

秋に定植するキャベツのチョウ目害虫防除にお奨めの殺虫剤はプレオフロアブル、ディアナSC、ゼンターリ顆粒水和剤です。若齢幼虫期が防除の適期です。抵抗性発現の防止対策としてローテーション散布での使用をお奨めします。

《 プレオフロアブルの特性 》

- ① チョウ目害虫に高い殺虫効果があります。中・老齢幼虫に対しても若齢期とほぼ同等の高い効果を示します。
- ② 従来の殺虫剤と異なる作用性で、既存の殺虫剤に抵抗性のついた害虫にも高い殺虫効果を示します。
- ③ 殺虫効果の発現はやや遅いですが、強い摂食阻害効果でチョウ目害虫による食害を速やかに抑えます。

《 ディアナSCの特性 》

- ① スピノシン系殺虫剤で食毒と接触毒作用でチョウ目害虫をはじめ、アザミウマ目害虫、ハエ目害虫、コナジラミ類などの幅広い害虫に高い効果があります。
- ② チョウ目害虫に対して、速やかな食害抑制効果を発揮し、被害の拡大を抑制します。
- ③ 卵、幼虫、成虫の各生育ステージで効果があります。

《 ゼンターリ顆粒水和剤の特性 》

- ① 抵抗性コナガに対して高い殺虫効果を発揮します。
- ② ヨトウムシ、ハスモンヨトウに対しても高い殺虫効果を発揮します。
- ④ 新JAS法に基づく有機農産物生産にも使用できます。

(鳥取)



アオムシ



ハスモンヨトウ



コナガ

[目次へ戻る](#)

お役立ちプチ情報

シリーズ「害虫の姿」(その5 : 果樹の害虫)

・アオクサカメムシ

カメムシ科：成虫は細長い六角形で、扁平である。体長は約15mm。全体に緑色であるが、変異が多い。果樹吸汁性のカメムシ類の中で主要な種である。成虫が、なし、かき、かんきつに飛来し、加害する。落葉の間等に潜伏して越冬し、4月頃から産卵する。6月頃から第1世代の成虫、9月頃から第2世代の成虫が果実に飛来し、加害する。



・ミナミアオカメムシ

カメムシ科：体長約15mm。体色には緑色、黄帯、緑斑、褐色の4種があるが、緑色が一般的である。すぎやイネ科雑草で越冬し、4月頃から麦、なたね、タデ科雑草に産卵する。6月頃から第1世代の成虫が稲を加害し、夏季に第2世代以降の成虫が果実に飛来し、加害する。かんきつで被害が大きく、なし、もも、びわも加害する。



・モモアカアブラムシ

アブラムシ科：モモアカアブラムシの生活環は複雑である。ももで越冬した卵から無翅胎生雌虫（幹母）が孵化し、胎生で2世代ほどを経過した後、有翅胎生雌虫が発生し、中間宿主の夏作物に移動する。この後再び無翅胎生雌虫を産み、多数の個体が発生する。この個体の中から有翅胎生雌虫と有翅胎生雄虫が発生する。有翅胎生雌虫はももに帰り、無翅産卵雌虫（産雌虫）を産む。この無翅産卵雌虫は飛来した有翅胎生雄虫と交尾し、産卵する。モモアカアブラムシの無翅胎生雌虫（写真）は白色、黄緑色、赤褐色と変化が多い。体長は約2mmである。



・ワタアブラムシ

アブラムシ科：ワタアブラムシもモモアカアブラムシと同様の生活環で、なしでは最も発生が多いアブラムシである。無翅胎生雌虫（写真）は暗緑色で体長は約1mmである。尚、いずれのアブラムシも異なる世代が同時に生存し、群れをなしている。



(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

8月7日の主な適用拡大の内容です

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2013.html>

○ 除草剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
忍1キロ粒剤 (2013/8/7)	適用雑草追加	移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ他 9種雑草	エゾノサヤヌカグサ (北海道)を左記雑草 に追加
ゼータファイヤフロアブル (2013/8/7)			水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ他 5種雑草	エゾノサヤヌカグサ (北海道)、オモダカ、 クログワイ(北海道 を除く)、コウキヤガ ラ(関東・東山・東海、 九州)、シズイ(東北) を左記雑草に追加
メガゼータジャンボ (2013/8/7)			水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ他 9種雑草	シズイ(東北)を左記 雑草に追加
ブルゼータフロアブル (2013/8/7)			水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ他 9種雑草	エゾノサヤヌカグサ (北海道)を左記雑草 に追加
	適用雑草の地域 変更			オモダカ(九州を除 く) クログワイ(北海道、 九州を除く)
ヨシキタジャンボ (2013/8/7)			クログワイ(東北、関 東・東山・東海)	クログワイ(東北、関 東・東山・東海、近 畿・中国・四国)

(山脇)

[目次へ戻る](#)

ひまわり農園奮闘記

東京でも気温が40度近くになり、今年の暑さは格別な気がします。熱中症で病院に運ばれる人が急増していることもあり、当農園の掲示板にも日中は作業を控えるように注意を促す文書が貼られています。

さて、夏野菜で収穫出来るものは、なす、ピーマン、ししとうだけとなりました。とうもろこしなどの畝は耕して、秋野菜の準備を進めています。

7月14日:なす、きゅうり、トマト、ピーマン、ししとうなどを収穫(隔日ごと)する。オオタバコガの幼虫がミニトマトに食入して腐敗し、そこにコバエが集まり被害が広がる。

7月15日:とうもろこし、えだまめを収穫した後の茎や葉は、堆肥代わりにさといもの畝間に敷いて土を被せる。なすの葉にハダニが発生し、被害の大きい葉は摘み取って処分する。土壤が乾燥するとにんじんは発芽が不斉一となるので、水を毎日タップリかけると一斉(写真-1)に発芽する。なすは側枝を伸ばすために1.5mで摘芯する。

7月30日:とうもろこし、えだまめ収穫後の畝を耕し、そこにはくさい、おふくろだいこん、青首だいこんをは種する予定。ピーマン、ししとう、なすに追肥し、大きくなった空芯菜は寒冷紗を外す。

8月2日:さといものに施肥し、2回目の土寄せをする。ねぎには化成肥料と堆肥を施し、第1回目の土寄せをする。ポイントとして、ねぎの分枝部分には土をかけない。寒冷紗を外し、にんじんは土寄せを2葉の下までする。病害虫防除は2週間に一度ぐらいのペースで散布する。空芯菜(写真-2)がネキリムシで矢印のように根元から齧られる。

8月11日:早朝から太陽が照りつける中、汗だくで農作業をする。内容はトマト、きゅうりの株や支柱を抜き取り、マルチを剥し、三つ鍬で深耕する。すると土の中から、ネコブセンチュウでコブになったトマトの根(写真-4)が多数出てくる。丁寧にそれらを取り除き処分する。そのネコブセンチュウ対策として土壤消毒剤を全てのトマトの区画に灌注処理する予定。

これからは、みずな、かぶ、チンゲンサイ、だいこん、はくさいのは種、キャベツ苗の植え付けが9月上旬までに予定されています。そして、農薬の使い方の講習会などもあります。

秋には立川市農産物品評会(10月26日)があり、当農園からも出品します。私も秋野菜を上手に作って、当農園の人たちと一緒に出品できるようになりたいと思います。

一口メモ:とうもろこしを加害するアワノメイガの防除は、雄穂(ゆうずい)が出た時と、雌穂(しずい)が出た時の計2回の散布が効果的です。そして、収穫は適期にすることが肝要で、収穫が遅れると必ずアワノメイガは食入します。収穫は早くしたほうが被害も少なく、みずみずしく美味しいとうもろこしをいただけることとなります。<次号に続く> (古津)



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

[目次へ戻る](#)

お知らせ

住化アグロ製造株式会社

庄原工場竣工式

7月25日（木）、広島県庄原市川北町にある弊社グループの住化アグロ製造(株)庄原工場において、ケーサー（粒剤包装設備）増強の竣工式が行われました。

今回の設備増強は、ラップラウンド式（底が組立て式になっており、テープ不要な形式）の段ボール箱詰め生産ラインを1系列から完全に2系列化するためのもので、庄原の粒剤生産能力はこれまでの2,000トン／年から、2倍の4,000トン／年にまで増やすことができるようになります。

一連の神事後、祝辞披露や建設に当たったゼネコンへの感謝状贈呈式、テープカットなどが行われ、終始厳かな竣工式となりました。

今後ますます生産能力を向上させ、良質な製品を安定的にみなさまの元へお届けします。今後とも弊社製品をどうぞよろしくお願いいたします。

（製品生産企画部 両角）

[目次へ戻る](#)

生産者の皆様へ

住友化学(株) アグロ事業部 普及部長 黒田芳一

暦の上では秋となりました。しかし7月からの猛暑はお盆を過ぎても収まらず、健康管理や農産物の栽培管理に大変ご腐心されていることと存じます。

今年の夏は高知県で気温40℃以上が3日間連続したり、甲子園でプレーする高校球児も熱中症になるなど東京以西では35℃を超える猛暑・少雨の日が続き、高温・渇水による農作物への影響が心配されています。また一方、東北、北海道では大気不安定となり頻発する集中豪雨による農作物への被害が多く報道されています。つい最近では桜島の大噴火もありました。気象災害により影響や被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

農林水産省では7月に「高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」を関係者へ通知しました。皆さまにおかれましてもその指導を踏まえ、少しでも農産物への影響を軽減するため日々栽培管理にご努力されていることと思います。今年の気象条件により高温・早魃の地域では、斑点米カメムシ類やトビイロウンカの注意報が、集中豪雨が続く地域ではいもち病（穂いもち）の注意報が各県の病虫害防除所から発令されています。病虫害対策においても適切な防除が求められており、弊社製品が少しでも防除のお役にたてられればと思います。

気象予報によると暑さはまだまだ続くようですが、農作物の栽培管理とともに水分補給を的確にするなど熱中症対策にもご留意され、皆さまが厳しい夏を乗り越え実りの秋を迎えられることを切に願っております。

[目次へ戻る](#)

普及部
木村の

新

気ままに鉄道



バーチャルトライアスロンの旅

ついに始まりました、普及部木村の「気ままに鉄道バーチャルトライアスロンの旅」(別に鉄道オタクではない)。趣味でやっているトライアスロンの練習距離を元に、気ままに鉄道旅行を楽しみます。

どこに向かうか、どこに着くかは、日ごろの努力と運次第。新企画、出発しまーす！！

旅のルール

1. 毎月のトライアスロンの練習距離を「手持ち距離」とする。
2. SWIM、BIKE、RUNの練習距離を単純に足し合わせると圧倒的にBIKEの比率が高まってしまうため、オリンピックで採用されている競技距離(SWIM1.5km、BIKE40km、RUN10km)の比率を参考に「手持ち距離」は次の計算式で算出する。
手持ち距離 = (SWIM 練習距離 × 26.6) + (BIKE 練習距離 × 1) + (RUN 練習距離 × 4)
3. 東京本社最寄り駅「八丁堀」を起点とし、「手持ち距離」分を直線距離で進む。
4. 「手持ち距離」分が進んだ先の特産物、名物、歴史などをインターネットで調査する(ここで旅した気になる)。時々実際に出張できれば楽しいなっ！

自己紹介

名前: 木村晋也(男、30代の真ん中くらい)	苦手なもの: ジェットコースター
所属: アグロ事業部普及部技術普及チーム (殺虫剤担当)	その他: 家族を大阪に残し、東京に単身赴任中。
趣味: トライアスロン(トライアスロン暦6年) 英会話	妻の静岡弁につられ、大阪人のくせに語尾に「じゃん」を使ってしまうことがある。
出身: 大阪	トライアスロン練習内容:
家族: 妻1人、子供2人	入社前のスイム or ラン、帰宅後のラン or バイクトレーナー、筋トレは嫌い
性格: 勤勉、まじめ、粘り強い	
特技: 犬の顔だけをみて雄雌を見分けられる (毛むくじゃらの洋犬は結構はずす)	
家事全般	



スカイツリーと殺虫剤「ディアナ」の高さを比べてみる(ややスカイツリーの方が高い)。

[目次へ戻る](#)

新シリーズ

あの農家さんはいま



「i-農力だより」では、これまでに全国の様々な作物を栽培している農家さん取材してきました。まもなく 90 回を迎える「農家さん訪問記」を振り返り、過去に訪問した農家さんのその後を不定期で紹介していきます。



青木一廣さん

i-農力だより第 78 号（2011 年 6 月 30 日発行）でご紹介した農家さん、北海道倶知安町の青木一廣さん（63 歳）を再度訪問し、前回取材（2011 年 5 月 18 日）から 2 年間の発展の様子を伺いました。

青木さんは平成 13 年（2001 年）に「北海道チャレンジ 21 推進事業」として北海道庁の補助金を得て、農業生産法人アオキアグリシステムを設立し、栽培したそば、ばれいしょを加工してネット販売やレストラン「じゃが太」、そば屋「羊蹄山」で提供するという生産から販売までの一貫した仕組みを作っています。農業の 6 次産業化^{*}が最近いきりに言われるようになりましたが、青木さんは 10 年以上前から農業の 6 次産業化を実践しています。

三つの大きな変化が

青木さんには、前回の訪問から今回の訪問までの間に三つの大きな変化がありました。その一つは、H23 年（2011 年）10 月に農水省関連の総合事業化計画の認定を得たことです。事業化計画の概略は「ばれいしょ栽培の大害虫シストセンチュウの防除対策として小麦を栽培し、収穫した小麦を小麦粉にし、パンを焼いて販売する」というものです。この事業の一環で、「アグリステーションようてい」の敷地内に今年 4 月 24 日にパン工房「まる麦工房」をオープンし、また、デパートの物産展に初めて出展しています。デパートでは販売員 3 人を派遣して販売しています。デパートでの売上目標は 15 万円/日だそうです。



パン工房「まる麦工房」(右)と
レストラン「じゃが太」(左)

青木さんの農業の 6 次産業化がそば、ばれいしょに次いで、小麦でも進んでいます。これは 2010 年度に始まった個別所得補償制度^{*}で小麦も差額補償を受け取れるようになり、価格競争力がついたからできるようになったとのことです。

^{*} 農業の 6 次産業化：農山漁村の「地域資源」を活用して、農林漁業者（1 次産業）が自ら連携して加工（2 次産業）や販売（3 次産業）に取り組む経営の多角化を進め、雇用創出や所得向上による農村漁村地域の再生・活性化を目指すこと。（1 次+2 次+3 次）の 6 次産業です。6 次産業化法は H23 年 3 月 1 日から施行。

^{*} 個別所得補償制度：販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物について差額交付する制度



農薬保管庫

二つ目の大きな変化はグローバルGAP^{*})です。青木さんは流通大手のイオングループが進めているグローバルGAPの認証取得事業に参加し、2年前から準備を進めてきましたが、いよいよ8月か9月に認証される見込みとのことです。倶知安地区では15名の農家が参加していて、グローバルGAPの対応準備の出来た10名が認証される見込みとのことです。GAPの一例としては、農薬保管庫は保管種子とは区別した施設で、保管棚の材質は不浸透性のものであること、畑にはトイレを整備する（畑はキッチンとの考えで）などがあります。青木さんはばれいしよで認証を取る予定ですが、仲間には米や大豆などで認証を取る人もいます。グローバルGAPの認証が取れば、海外への輸出が可能になります。

^{*}) グローバルGAP (Good Agricultural Practice) : 農産物の安全管理を向上させて、円滑な農産物取引環境の構築を図るとともに、農産物事故を減らすことを目的とした世界的な農業生産工程管理基準

三つ目はそば屋「羊蹄山」が2012 ミシュランガイド北海道・特別版でビブグルマン(3500円以下で食事が出来るパフォーマンスに優れた店)に選ばれたそうです。日々の努力が認められたのだと思います。おめでとうございます。また、「羊蹄山十割そば(ぼたんそば)」はベルギーモンドセレクション2012年で銅賞を受賞しています。

その他では、前回訪問時に伺った水力発電の構想については業者に依頼して検討までしましたが思うようなものができず、中断状態です。今のところ何時実現できるか目処がたっていないと言うことでした。

今後の夢は・・・ソーシャルファーム作り

青木さんにこれからの夢は何ですかと伺ったところ、農家としての「ソーシャルファーム(障害者や労働市場で不利な立場にある人に働く場を提供する事を目的とした社会的企業)作り」だと話してくれました。車椅子の人でも幼児でも高齢者でも利用出来る施設を作りたいそうです。訪問した時にはすでに「ようていアウトドア」と名付けてラフティングを始めており、次女のお嬢さんが独立した事業として部門を担っています。ラフティングのコーチは下半身不随の方です(スノーボードで転倒し、脊髄を損傷。下半身不随で車椅子の生活になりました)。青木さんのいうラフティングは急流下りではなく、障害があっても楽しめるラフティングがキャッチフレーズです。アオキアグリシステム所有の土地(アグリステーションようてい)には羊蹄山の湧水が流れ込む大きな池があり、その池がラフティングの場です。羊蹄山を眺めながらのんびり楽しめる周遊ツアーだそうです。

大きな池の周りに、そばや「羊蹄山」があり、レストラン「じゃが太」があり、その隣には「パン工房」があります。そして、その横に新しく雪室貯蔵庫を作り、その上に宿泊施設(民宿)を作る構想があるようです。青木さんの夢は果てしなく続くのだらうと思いました。取材から2年で大きく様変わりしてしまいましたので、また2年後くらいにお邪魔したらソーシャルファームからにぎやかな人々の声があふれているのだらうと想像しながら倶知安を後にしました。



ラフティングの看板

訪問した時には、6月1日に植えた「ぼたんそば」の苗が広々とした農地一面を緑色に染め、風にそよいでいました。花が咲き始めたらどんなにきれいな風景になるのだろうと想像しただけでも癒される気分になりました。



ぼたんそば畑

お忙しい中、今回も丁寧に説明していただきました青木さん、どうもありがとうございました。また、この取材にご協力いただきましたサングリン太陽園倶知安様にもお礼を申し上げます。
(鳥取・手塚)



*2011年5月に取材しました青木さんの記事はこちらになります。

<https://www.i-nouryoku.com/agora/dayori/pdf/No78.pdf>



手作りの雪室貯蔵庫
(現在使用中のもの)



[目次へ戻る](#)

～ 編集後記 ～



「農家さん訪問記」に記載したとおり、「世界農業遺産」は、国際連合の食糧農業機関が認定する権威ある制度です。ここでは、本文に書ききれなかった情報を少し紹介します。

世界で25箇所しか認定されていない「世界農業遺産」のうち、日本の認定数「5」は中国に次いで多く、国土の広さを考えると異例と言えます。技術が発達した現代でも、日本では自然と共生する伝統農業が各地で守り伝えられており、日本の認定数はこのことが高く評価された結果と言えるでしょう。

なお、現在、世界で33の地域が候補になっており、認定に向けて精力的に調査・検討が実施されています。今後、認定数が増えるにつれて、世界的に、今まで以上に注目を集める制度になることが期待されます。

さて、話を「茶草場農法」に戻します。この農法が守ってきた希少動植物の例として、「農家さん訪問記」ではササユリの例を紹介しましたが、もちろんこれだけではありません。秋の七草のうち、キキョウとフジバカマは絶滅危惧種に指定されていますが、茶草場では全ての種類が見られます。また、昆虫では、成虫になっても羽の無い「カケガワフキバツタ」という固有種が生息しています。

取材時には残念ながら出会えませんでした。時期を選べば、希少な野の花の数々を楽しむことができるそうです。

「東山いっぷく処」を起点に、東山地区の茶草場を散策されてはいかがでしょう。(南)



取材後の散策で見つけた記念碑

8月のお盆を前に東京では35度を超える暑い毎日が続いています。山梨県甲府市と高知県四万十市では40度を越えたそうです。

そんな暑い日には「緑茶」が体によいと今回取材に伺った杉浦さんが教えてくれました。棚の奥に隠れてしまった急須をひっぱり出し、パンフレットに書かれた「おいしいお茶の入れ方」を読みながら、取材時に買ってきた「東山茶」と一緒に甘い和菓子も用意して、お茶を楽しんでみました。旨みがギュッとつまっているという「最後の一滴」までいただきました。香りとともに取材時に見たお茶畑の風景もぱっと目の前に広がり、ペットボトルと違って急須で飲むお茶は、ホッとする味でとてもおいしかったです。

そういえば、最近スーパーには熱中症対策として、塩の入った飲み物や飴などを集めたコーナーをよく見かけます。以前はこのようなコーナーはなかったので、普段の食事から取り入れられないのかと、塩が入っているものを考えてみました。「味噌汁」「漬け物」「梅干し」等。こうしてあげてみると和食がとてもよさそうです。和食を食べれば、暑い夏を元気に過ごせるのではないのでしょうか。そして、食事の後に、そう、お茶を飲めば完璧。今回の取材では、日本の食文化のすばらしさについて改めて気付かされました。取材はいろいろな発見につながります、おもしろいですね。(阿部)



次月号の - 農力だよりは
9月30日(月)の発行予定です。
どうぞお楽しみに!!

[目次へ戻る](#)